

ブダペスト通信

盛田 常夫



2022年 NO. 34

11/16 WED 2022

サントリーホール

開場 18:30 ブルーローズ

開演 19:00

<料金>

S席	8000円 (限定30席)
A席	5500円
A席ペア	10000円 (限定50組)
当日券	6000円 (A席のみ)

<チケット販売サイト>

チケット販売開始 9月15日
※未就学児入場不可

<https://onokuni.official.ec/>

A=432Hz ピッチによるピアノ演奏会のお知らせ

今日ではクラシックのコンサートピッチ（基準音）は、A=440Hz に設定して、調音されますが、クラシックのメッカであるオーストリアでは、19 世紀を通して、A=432～435Hz を基準音にしていました。オーストリアでは A=432～435Hz を基準音にしたピアノが製造されていて、イギリスでは A=440Hz を基準音にしたピアノが製造されていました。

現在では、万国規格統一協会（ISO）が 1939 年に定めた A=440Hz で統一されており、ウィーン調音のピアノ製造は行われていません。しかし、クラシックのメッカオーストリアでは、20 世紀初頭に至るまで、A=432～435Hz の周波数で調音されていたのです。素人にその区別を感じ取ることは難しいですが、基準音が異なると曲想が微妙に変化します。19 世紀のクラシックのオリジナルな曲想を感じるには、基準音を A=432～435Hz に変えた楽器で演奏することが必要になります。

ハンガリーとも縁が深いピアニストの Kuniko（中村久仁子）さんが、A=432Hz で製作されたピアノで演奏会を開きます。A=440Hz ピアノを調律することによって、A=432Hz を基準音とするピアノができるわけではなく、弦の長さを変更することから設計しなければなりません。Kuniko さんが弾くピアノは、タカギクラヴィア社社長の高木裕氏の製作によるもので、この二人の共同作業によって生まれました。

Kuniko さんの A=432Hz ピッチによるピアノ演奏会が開催されるのを機会に、このコンサートを皆さんにお知らせする次第です。皆様、よろしくご支援の程、お願いいたします。

2022 年 9 月 26 日 盛田 常夫